



静岡県立沼津商業高等学校同窓会  
 〒411-0917  
 静岡県駿東郡清水町徳倉1205  
 TEL055-932-5747 (FAX共用)

「酒味にならないよ」



加藤 博昭  
 (第二四回生)

第六一回沼津商業高等学校同窓会が昨年七月一九日同窓生二三十余名の集う中沼津キャッスルホテルで盛大に開催されました。

私は現在六〇歳を過ぎた第二四回生ですので、同窓会には今回の当番幹事ということで恥ずかしながら、初めての参加でしたが、大先輩のパワーと若さに圧倒されるとともに、自分の不甲斐なさを痛感した一日でした。

さて、ここからは私事で大変恐縮ですが最近の事柄からお話しさせていただきます。

私は平成二五年度末を似て定年退職をいたしました。

退職前、多くの諸先輩方から事あるごとに「退職したら一生続けられる趣味を持って」とよく言われました。現職の時には、余り気にもしていませんでしたが、いざ退職してみるとこの言葉が妙に気

になりました。

今までは、仕事が趣味と言いながら帰りは毎晩居酒屋通い、酒の量と種類だけは誰にも負けないと自負してきた私に、そもそも味わい深くおもむきがあつて楽しく永く続けられる趣味なるものとはと自問自答すれば、即座に無いと答えてしまう自分がまったく情けない。暫くは自分の趣味は何だろうと真剣に考えてしまいました。

私は退職前の八年間を静岡県庁の文化観光部で主に観光振興に携わってきました。

世はまさに観光ビックパン、大交流時代と言われ、旅行のスタイルは団体旅行型から個人・グループ型旅行へ、需要は物見遊山型から目的・体験指向型へと大きく変化していきました。

このようなか、平成二二年六月に待望の富士山静岡空港が開港し、誘客範囲も東京、大阪、名古屋といった首都圏、中京圏に加え、北海道、九州、沖縄といった国内遠隔地や中国、韓国、台湾など東アジア等の海外へと急速に拡大していった時期でした。

当然、観光戦略もグローバルな観点に立った施策が求められる訳で、常に新たなことを企画・実行していく毎日が、苦痛でもあり、楽しくもあつた大変充実した時間を過ごすことができました。



静岡観光キャンペーン in 北海道

現在は、再任用職員として観光振興全体の調整・相談を主な業務としておりますが、今年度から、二〇二〇年東京五輪や二〇一九年日本開催のラグビーW杯等の大規模スポーツイベントの誘致活動を担当する部署が、新たに設置されたことから、この企画にも参加することになり多忙な毎日を送っておりますが、現職若手の邪魔をせず、自らの経験を生かして微力ではありますが、県政に少しでも協力できればと思いい気負わず楽しくやっております。

結びに、諸先輩を始め皆様方ますますのご健勝と弥栄をご祈念申し上げますとともに、私は「趣味が酒味」にならないように努めて参りますので、これからもよろしくお願いいたします。

校舎移転の思い出



安養 博子  
 (高一一回生)

高校卒業から何年？数えてビックリ！四六年。ほぼ半世紀と言える年が過ぎていました。

私が二年生の時、丸子町の旧校舎から現在の徳倉校舎への移転がありました。当初グラウンドの整備は、未だ半ばで、体育の授業では石拾いをしたことも思い出です。三島からバスで徳倉まで行き、

そこから歩いて校舎まで。その道もまだ舗装されておらず、雨の日には、ぬかるんでいたことも覚えています。学校の周辺には建物は少なく、ずいぶん田舎へ来たものだと思つたものでした。

そして卒業から二四年、今度は娘が入学してお世話になりました。入学式で沼商へ行った時、校舎周辺の変化、交通事情の変化に、昔の景色はありませんでした。これが半世紀の時の流れでしょうか、更に沼津丸子町にあった校舎は、建物もないせいか、なんの跡形もなく少々寂しさを感じました。

この寄稿を機会に近々、娘と一緒に沼商を訪問し、半世紀の時の流れを、この目に収めてきたいと思っております。

ありがとうございました。

「丸子の杜」…1921(大正10)年、いまの沼津市立第一小学校西隣から沼津市丸子町に移転した沼商の校地の北側には、鬱蒼と茂る式内丸子神社の鎮守の森があり、それを沼商の象徴とし「丸子の杜」と呼ぶようになった。

沼商創立百十五周年記念講演を聞く  
「妻とこころ女優とこころ」  
「夫・大島渚と過ごした日々」



森本 明  
(高九回生)

「一切を捨てる」「目に見えないものを求める」「試練で耐えきれないものを神は与えない」等、小山明子さんの一つひとつの言葉は説得力があり、実生活から滲みでたものであり、共感を覚えた。大島渚監督の発病、そのことで自分を追い詰め、自身の発病になり次々と試練は襲いかかり、死ぬことだけを考えた。愛する子供のことで自身がいなければ誰がするのだと



熱の入った講演中の小山さん

われに返り「夫の介護をしよう」苦闘の生活が始まった。自分の殻を捨て、御近所の人と交わり、親切な店主の助けを借り、また体力づくりヨガや水泳をして徐々に体力と気力を取り戻して自らの

病を克服していった。夫を介護する時、困難な生活であってもユーモアを忘れず過ごした日々は印象的であった。

大島家は海人のことばを大切にしてきた。大島監督のメモリアルストーンにも彼の言葉が刻んであるという。海人を見るとき文学的にも、生き方にも学ぶべきことが多くある。



笠井さんのナレーション



海人短歌の吟詠

歌集『白描』の序文にある「癩は天刑である。深海に生きる魚族のように自らが燃えなければ、何処にも光はない。：中略：癩は天啓でもあった。」海人は友人から聖書をすすめられて読みキリストに出合った。普通の境遇の人から見ると決して幸福とは云えない過酷な人生であった。

「癩は天啓でもあった。」と昇華精神をもって、生涯を終えたことはキリスト信仰の恵みだと思おう。同窓生が海人の生涯を朗読。同じ同窓生の尺八の伴奏による海人の短歌の吟詠は講演会に華をそえていた。

この講演会を企画実施された役員の方々の労苦に感謝し、創立百二十周年に向かってさらなる沼商の発展を祈ります。

点と線と縁



小澤 淳市  
(高二四回生)

「ウォーレ」、「ズネーン」と、そんな声を聞きながら毎朝中学に登校をしていたのを思い出します。弓道部の朝練です。後から聞いた「あたりり」「さんねーん」と言っているようですが、今思い出しても、そうとしか聞こえなかったけど・・

私の通っていた沼津一中と沼商は隣同士に在り、よくその三階からグラウンドを眺めていました。制帽も一中は一本線、沼商は二本線、「商人の子は沼商」へそんな点が繋がりが沼商進学が最初の一点となりました。

卒業後沼津に戻り仲見世で家業の子供服店を継ぎました。当時の仲見世にはとても大勢のOBの方々がいらして、その方々から商売や人生について多くの事を学ばせて頂きました。

出店についても教えて頂きました。そんな折、偶然来たレジスタの営業マンが提案した出店話、それを検討しアドバイスをくれた。これもまた偶然再会した企画会社の社長様。

一方取引先の担当者の転職先が、企画したブランド子供服の話。こんな全く無関係な一つ一つの点が、



Well-D長泉2階 「ANGEL KISS」の店内

不思議な縁で結びついて、私達の最初の出店となりました。その後この縁が更なる点と繋がり次の出店に。

そしてまた、沼商旧友の助力で、社の経理を先輩にお手伝いして頂く事になり、それから六年後、そんな関係もあり同窓会の当番幹事代表を受けることとなり、新たな点を創ることが出来ました。

今まで知ることの無かった役員の方々始め、各支部の方々、多くの先輩後輩の皆様。そしてなにより、何十年振りかで再会した級友達。ただ、沼商同窓生というたつた一つの接点だけで、応援をしてくれ、暖かい言葉をかけてもらいました。沼商入学と言う最初の一点が四三年の年を経て新たな点を創り線となり縁となることを実感させて頂きました。

これからもこの一つ一つの点を大切にしているいろいろな線を、いろいろな方向に伸ばして行けることを期待しています。

ありがとうときめき・輝く沼商関わって頂いた多くの同窓生の皆様そして関係者の皆さんに感謝！

## 社会人になって分かったこと

佐藤 真由花  
(高六六回生)

沼商を卒業し社会人になってからあつという間に半年以上の月日が流れて行きました。社会人になってからの毎日は日々時間に追われ一日が過ぎて行くのがとても早く感じる毎日です。

四月一日に入社式があり、私は初めて会社の同期に会いました。私を含め二人でした。その中で十人は四つ以上上の大卒の方々がいました。一週間同期二人で研修があり、仲良くできるか不安でしたが、四つ下ということもあり、皆とても可愛がってくれました。同期との仲も深まってきた頃には、研修最終日を迎えました。

研修が終わるとそれぞれの部署に配属となり、せっかく仲良くされたのに離ればなれになるのがとても寂しかったです。

自分の部署への配属初日、とても緊張していました。社員の方々の前で自己紹介をした後、部長からの教育が始まりました。それから約八ヶ月間は教育の日々が始まりました。それは初めて習うことばかりで必死にノートをとっていました。二ヶ月間は教育者が付いてくれたのですが、それ以降はテスト期間ということで、ノートを

見たり質問をしに行きながら自分で進めて行く期間になりました。本番の仕事をする日が来て、仕事をもらった時、それがとても重く感じました。

私の仕事は人の命に関わる仕事です。高校生の時のように、失敗してももう一度チャンスがもらえるなんて事はありません。

一度大きな失敗をすれば、会社全体に迷惑がかかるだけでなく、取引先の方々にも多大な迷惑がかかります。これが仕事とする上で責任なのだと思いました。

また、理不尽なことで怒られ自分が悪くなくても謝ることはよくあります。正直、辛いと思うことはたくさんありますが、嬉しいことも辛いことのみではありません。

それは土日の休みやお給料、年に二回あるボーナス、たまに会える友だちとの時間。高校生の時は毎日の様に会っていた友だちも、たまに会えることより一層友だちの大切さを知ることができました。

また、自分で一生懸命働いてもらって分かるお金の大切さや働くことの大変さ。社会人になると本当に大変ですが、大切なことを沢山教えてくれます。社会人になる為に学生の内にできることは、どんなこともチャンスは一度きりと考えて、手を抜かずに全力で取り組むことだと思えます。辛いこともたくさんありますが、自分を成長させる為の試練と受けとめて、これからは頑張っていきたいです。

## 目標を持つ大切さ

室伏 なつみ  
(高六六回生)

あつという間の時は過ぎ、沼商を卒業して一年が経ちました。

入学当初は特に目標もなくただ漠然と、沢山資格を取得し、それを活かせる会社に就職したいと思っていました。最初は初めて習う商業科目に戸惑い、授業についていくのが精一杯でした。一年生の終わりに先輩方の成績優秀者の表彰式を見て憧れを抱きました。

その時、私も先輩のように名前を呼ばれて舞台上に立ちたいと強く思いました。また、所属していた電算機部でも大会に出場するように各大会で上位入賞、国家資格の取得を目標に取り組み始めました。勉強も部活動もいままでは先が見えずただがむしゃらにやっていました。しかし目標ができたことにより、今何をすべきかを明確にでき、挫けそうになったり辛い時もモチベーションを保つことができました。

結果、表彰台に立つことができ、部活動でも何度か大会で上位入賞・国家試験に合格という目標を達成することができました。

今、私は医療器機を取り扱う会社で金銭と総務の仕事を担当して

います。入金入力や経費の精算、車関係など様々な業務をしています。お金に関わる仕事なので迅速にかつ正確に処理しなければなりません。また、他の事務さんや営業さんと関わることが多く円滑なコミュニケーションが大切です。

最近では受注入力や電話対応などもやり始め、日々覚えることが沢山あり四苦八苦しています。日々の業務の中でも(今日はこまめで終わらせる)など目標を立て、行動するよう心がけています。また、沼商で身に付けたエクセルやタイピング、情報処理などのスキルや礼儀作法を活かすことができ、大変充実しています。

会社の方針の中に「三識力の強化」という言葉があります。三識力とは意識力、知識力、常識力の総称です。人の命に関わる仕事だと意識する。商品売る・仕事を効率化するために知識をつける。ビジネスマナーなど社会人として常識をつける。など意味があります。私もこの三識力を身に付けられるよう努力している最中です。

これからは沢山の困難や試練があると思いますが目標を持ち、一つ一つ乗り越えていきたいです。そして励まし支えてくれる方々に感謝の気持ちを忘れず、自分のペースで頑張っていきたいと思っています。

## 尺八と私



青木 康夫

(敬堂)  
(高十四回生)

今回役員の方から、私と尺八との関わりについて「丸子の杜」へ投稿するように依頼されたので不安ではあったがなんとか頑張ってみようとお引き受けした。

私が初めて尺八と出会ったのは、沼商を卒業して藤倉電線、今の(株)フジクラに入社して半年くらい経った頃だった。本社での研修を終わって七月から沼津工場の総務課へ配属されたが、同じ職場に沼商の二年先輩の露木敏子さんと一年先輩の菊池信子さんがおられ、お二方とも会社の箏曲部に所属されていた。元来音楽好きだった私は、日本の楽器に触れたことが無かったことからお箏の先生の所へ連れて行ってもらい、箏に触れさせていただいたが、その折に露木さんから箏を習うようにと言われて、断る言い訳に「尺八ならやってもいいけどお箏はちょっと・」と言ったところが、なんと会社で尺八をやっている人が居たために、今度はその人、佐野政司さんの所へ連れて行かれた。その佐野さんの紹介で清水の横山蘭

畝先生のお宅に伺い、入門した事がきっかけである。

以来先生があちこちのお箏の演奏会に招かれるたびにお供をさせて頂き、各地の箏曲の先生方の知遇を得たし、入門から約五年で一応師範の免状を頂くことが出来た。その頃は家ではもちろん会社へも尺八を持ってゆき、昼休みに吹いたりして一日三時間は練習していた。後に東京転勤を機会に、横山蘭畝先生の御息で世界的な尺八奏者の横山勝也先生に師事し、十年以上の間、古典から現代曲まで幅広く教わることが出来た。お陰で各地の演奏会にも出演させて頂いたし、新聞にも取り上げて頂いた。今まで関わりがあった全ての方々に御礼を申し上げたい。

さて私の事はそこまでとして、少し尺八のことについてお話ししてみたい。そもそもなぜこの楽器を尺八というのか、ご存知の方も多と思うが、標準の長さが一尺八寸である事からその名がつけられた。なぜ一尺八寸が標準かは、その長さの笛の筒音が中国の標準音程である壹越(イチコツと読む)である事で、この音程はドレミというレにあたる。そして材料は真竹で、根元から七ふし目までを使う。節を全て抜いて一番上の節の部分を斜めに切り、手穴を五つ開けて音階を吹けるようにしてある。勿論全て手作りである。

元々尺八は楽器として生まれ

たものではなく、普化宗(フケシユウ)という仏教の宗派の虚無僧が自身の修行の為に吹いたものであり、一般の人が吹くものではなかった。そして幕府の庇護のもと、全国に虚無僧寺が作られ、各寺には一寺一津と言って必ずその寺に伝わる秘伝の曲があった。この近くにも修善寺と湯ヶ島の間にある旭滝の麓に「龍源寺」という虚無僧寺があり、「瀧落ち」という曲が伝わっている。明治になって普化宗が廃宗となって初めて一般人が楽器として演奏出来るようになったが、各地に普化宗名残の曲が伝わり、それを伝えている人も多い。

私は師匠である横山勝也師もその一人で、そのつながりから私も普化宗の曲を相当数習得している。

明治維新を迎えると世の中全て西洋文明を取り入れることだけに集中し、伝統文化を軽んずる傾向にあった。尺八界もその流れを受け、中尾都山という名人が、雑音すら音楽としてきた今までの古い奏法を捨て、西洋音楽にも引けを取らない大合奏にも対応した流派を作ろうと都山流という流派を設立した。今の尺八界は七割方その都山流である。同じ時代に宮城道雄という大天才が現れ、「春の海」に代表される新曲を次々に世に送り出した。また他の邦楽家も新しい奏法や新曲を発表し、古典は影をひそめる時代が続く。また戦後、

ラジオから流れた笛吹童子。その音楽を手がけた福田蘭童は、茶の間に尺八の音を響かせた恩人であった。

しかしその後、武満徹という洋楽作曲家が横山勝也の古いとされてきた雑音を含む厳しい奏法を聴いて感動し、まずは「怪談」の映画音楽に琵琶と尺八を使った所、大変評判が良かったので、次にテレビの源義経の音楽を同様の楽器構成で作曲、更に今度は琵琶、尺八とオーケストラのコンチェルトともいえる「ノベンバーステップス」を作曲、指揮者小澤征爾、尺八横山勝也、琵琶鶴田錦史のコンビで国連をはじめ世界各国で演奏し、第一次邦楽ブームを作り出した。

その結果古いと思われていた奏法が逆に新しいと見直され、今では都山流の人達もそれを取り入れるようになってきた。しかしやはり近年の若い世代の邦楽離れは止めようがなく、残念である。そういった中で、微力ながら私も隔年でリサイタルを行ってきたが、一昨年に十五回の節目を迎えたことから、今年十一月に息子と連名の「尺八演奏会」と形をかえて開催した。お陰さまで大勢のお客様を迎えることが出来、深く感謝している。できればこれから何らかの形で続けて行きたいものと思っている。

# 支部だより

## 沼商「ふじの会」活動状況

会長 長坂本 實(高一五回生)

平成一四年発会以来活動が定型化し変化を模索する機運があることも事実です。しかしながら毎年同じ活動を続けることも大切と判断し反映させて参りました。平成二六年四月二九日富士市ブナ林創生事業植樹会に参加しました。会員家族等約五十名が参加し本会をアピールしました。

本年新調した「幟」を翻し存在感を高めてきました。二六年度通常総会は六月一日開催しました。本部長、母校校長先生方の臨席をいただきました。

講演はフリーアナウンサーの久保ひとみさんをお招きし「元氣と笑い」をテーマに講演をお願いし楽しい一時を過ごすことができました。

本会では総会・講演を地域の方々にお開し、本年も多数の



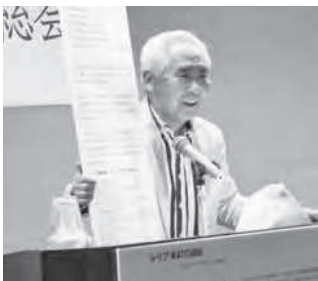
来場者を迎えました。本部当番幹事の方々との連絡を密にし支部活動の活性化、若返り化を計って行く所存です。参加出席に意義ありをモットーに支部活動を継続して行きます。

## 支部総会でフォトジャーナリスト 庄司さんの講演をうかがいました

支部長 長島 晃一(高一五回生)

昨年一月八日、支部総会を開催。来賓に宇佐美同窓会長、杉山副会長、高田校長先生をお迎えし、親睦を深めました。記念講演はフォトジャーナリストである庄司博彦(高一五回生)さん。アメリカの同時多発テロ直後にニューヨークへ撮影に行ったことがきっかけで、世界各地の紛争地や被災地の学校で「写ルンです」を使った写真教室に取り組んでいます。今回はシリアで行った写真教室と写真展のことを中心にお話し頂きました。

二〇〇九年から二〇一〇年にかけてシリアで行った写真展は、国営テレビにも取り上げられ、大きな反響があったそうです。紛



講演中の庄司さん

争直後のシリア国内を撮影した作品や、写真教室の様子を見せて頂きながら、オイルマネーで急発展する街の様子、若者のおしゃれについて、イスラム教についてなど様々な文化についてもお話を伺いました。

「誰もが願う平和が、国家の利害や天災によって叶わない国や地域で、『平和って何だろう?』ということをお子供たちと共に考える場を提供している」という活動に取り組み、庄司さんのお話には、大変感銘を受けた講演でした。

## 地域活動の一環として

### 富岡中に寄附金

南小の藤棚整備  
支部長 杉本 和男(高一五回生)

裾野支部は六月二八日に総会を開催。総会では高村裾野市長をはじめ高田沼商学校長、宇佐美同窓会長らをお迎えしご祝辞をいただき、記念講演では富岡中学校長朝倉和也氏を講師に招き演題に『オリンピ

ックに向けて日清食品グループ佐藤悠基選手との出会い』の講演をされました。裾野支部では地域貢献活動の一



南小藤棚の剪定

環として市内の学校等の支援事業に取り組んでいます。寄附金では富岡中体育クラブ活動に東海、全国大会に多数輩出していることから助成金を総会の席上授与いたしました。

また、平成一八年に藤を植栽し棚を寄贈した南小の藤棚有志が剪定を行い、生徒に花を見てもらうために年二回行っています。春には会員相互の親睦を図るためゴルフ大会を開催。ホールインワンができるなど盛り上がりしました。

## 定時制部会総会を開きました

部会長 久保田 英夫(定九回生)

定時制部会総会が平成二六年十一月三十日に沼津キャッスルホテルにて開催されました。議案の部会役員については全員留任で承認されました。また会則第八条の(部会)の箇所は(部会総会)と改正され、従って、「第八条(部会総会) 本部の部会総会は、三年に一回開催する」とする提案を承認されましたので、会員の皆様にご報告致します。

総会後、今年の秋の叙勲で瑞宝小綬章を受賞された鈴木緑郎先生の祝賀会が開かれました。先生は本校二商一回卒で、母校定時制の教頭先生を経て東部養護学校の校長先生を勤められました。八八歳の現在も数多くの要職にかかわり元気に活動されています。続いて総会の懇親会が盛大に行われました。

## 第2回生徒海外研修

期間 8月18日～22日

訪問国 台湾(台北)

研修生 樋口紗也香

(二年)

国本佳連・高島航平(二年)

渡邊実巳・岡本直樹(三年)

田代奈月 (三年)



今回の海外研修が私にとって初めての海外でした。なので初めてのことばかりで一つ一つが新鮮に感じました。沢山のことを経験させて頂きましたが、その中でも一番印象に残っているのは士林高級商業学校の学生との交流です。

お互いの生活に興味を持ち話をしていると、台湾の学生は「話す人の方に体を向けたり、人の目を見て、たまに頷きながら話を聞いて、とても誠実さが伝わる。日本人の良いところだね」と言われました。無意識にやっていたことですが、幼い頃から染みついた日本人のマナーなんだな、と思いました。日本人のマナーが海外で認められているというのはよく聞きますが、自分が実際に褒められたのは初めてだったので、嬉しさを感じたと同時に誇りに思いました。今回の研修で台湾の良さを知るだけでなく、日本の良さを見つめ直すことができました。これからは日本人としての自覚を持ち、思いやりの気持ちを忘れずに生活していきたいです。

三年 渡邊 実巳

私は今回第2期生として台湾での海外研修に参加した。研修期間は5日間と短かったが、台湾の文化や習慣に直接触れることができ、とても充実した期間だった。

私はこの研修中に日本と台湾の相違点をたくさん見つけることができた。その中でも特に見習いたいと思ったのは、個々の意思の強さだ。コミュニケーション能力において現地の学生と私の差は歴然としていた。何がここまでの差を生み出しているのかと考えた。それはきっと相手に伝えようとする気持ちの違いだと思った。形に

囚われず堂々と話している姿はとも同年代とは思えない程だった。今回この研修に参加してたくさん刺激を受けた。新たな目標もできた。見習える所は一つでも多く吸収し、これからの生活に生かしていきたい。そして、今回の研修において多くの課題も見付けたので、一つ一つ丁寧に改善していきたい。

一年 樋口 紗也香

## 明石海人の会

沼商同窓会

講演会

実施日 6月13日(金)

対象 一年生 二〇五名

講師 須永 英男(高4回)

講演を聴いて

明石海人。本名「野田勝太郎」彼については国語の授業の中で少し聞いた程度しか知りません。歌人で沼商生でハンセン病に罹ったことだけ。今回彼の人生がそんな単純ではないことがわかった。妻子もいたのに、二四歳という若い時にハンセン病の診断を受けて入院した。病気に対する偏見などで、家族と離れなければならぬという事は、本人・家族にとっても辛いことだったと思う。精神錯乱になったこともしかたないことだと言える。そんな中、彼は歌を知った。病気があった彼にとって、歌は希望とも言えたのではないかとと思う。病の苦しさが伝わってくる

ようだった。また、彼は失明する普通の人間ならここで諦めて、また病に絶望するだけの人生を送るだろう。でも、彼は違った。失明してもなお歌を作った。言葉に出して伝えたのだ。その話を聞いた時私は彼の偉大さを痛感した。ところが、次は声を出すことも困難になる。それを知ったとき彼はどう思ったのだろうか。絶望したかもしれない。それでも彼はまだ終わらない。宙に文字をかき、それを仲間にも伝えることで歌をつくったのだ。そして、「白描」がベストセラーになる。この人の人生と努力を考えればベストセラーだけじゃ足りない。そんな思いさえする。彼は短い人生を終えるが、彼の歌は終わっていない。私たち沼商生の心に衝撃と感動をもたらした。私は、「わが指の頂きにきて金花蟲のけはひはやがて羽根ひらきたり」という歌が好きだ。目が見えなくても、心で気配を感じとってそれを歌にする。常人には難しいことだ。彼だからこそできたのだろう。私たち沼商生は、明石海人を忘れてはいけない。常に心に留め、感じとることが大切だと思う。

一年 佐藤 栞

## 第14回校内短歌コンクール

最優秀賞

帰り道海を見ながらふと思う

私の悩みは小さなものだ

三年 常木 健一

\*\*\*\*\*  
活動する部活動  
\*\*\*\*\*

電算機部

全国高校情報科学競技大会(3月)

IP部門団体 優勝(7連覇)

個人の部 優勝 金指雄貴

準優勝 土橋洋紀

3位 杉山尚代

SE部門団体 準優勝

個人の部 準優勝 吉田夢莉亜

全国高校情報処理競技県大会(6月)

団体の部 優勝

個人の部 優勝 遠藤祥映

全国高校情報処理競技大会(7月)

団体の部 6位

全国高校IT選手権大会(7月)

団体の部 優勝(初優勝)

全国高校情報処理選手権(8月)

団体の部 優勝(6連覇)

東海高校実務競技会(11月)

情報処理の部 準優勝



私たち電算機部は、第三十四回全国高等学校IT簿記選手権大会に出場し、IT部門で全国132校の頂点に立つことができました。IT部門では国家試験であるITパスポートに準ずる問題が出題され、一チーム十人のうち上位三人の合計得点で競いました。私はこの大会を通して学んだことがあります。それは「勝つ」ということは、大会に出場した選手のみでなく、大会に出場した選手を超えており、三年生でも大会に出場できない人が多数いました。けれども出場することができなかった同級生や後輩が問題の印刷や綴じ込みをしてくれたお陰で選手は大会勉強に集中することができました。また部活を引退した卒業生の激励の言葉や顧問の先生の熱心なご指導を頂くなど、様々な人たちに支えられ、私たちは優勝できたと思っております。私は、これから社会人となりますが、部活動で培った経験を活かしてモラルやマナーのある人間として成長していきたいです。

三年 山田 寛直

バレー部

全国高校総体県大会(6月) 優勝

東海高校総体(6月) 3位

中部総合選手権(7月) 出場

全国高校総体(8月) 出場

国民体育大会(10月) 3選手出場

石橋佳奈枝 鈴木光海 望月祐佳



と一つになり目標に向かって日々の練習に励みました。結果は接戦で惜しくも負けてしまいました。が、県大会決勝に続き皆さんの温かい応援が大きな力となりました。また、先生方や家族・友達・関わってくれたすべての人たちに支えられていた事を改めて実感しました。全国大会を思い返すと、感謝の気持ちで一杯です。

三年 石橋 佳奈枝

弓道部

全国高校総体県大会(5月) 優勝

東海高校総体(6月) 準優勝

全国高校総体(8月) 出場

全国選抜大会(1月) 出場

ホッケー部

県選手権(4月) 優勝

東海高校選手権(6月) 3位

全国選抜大会(1月) 出場

写真部 民家の甲子園全国大会(8月) 出場



校長室に並ぶ大会優勝旗

平成26年度 静岡県立沼津商業高等学校同窓会育英基金決算書  
平成26年4月1日～平成27年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	90,485,497	26年度育英基金	2,494,672
26年度期間収益	524,495	次年度繰越金	88,515,320
合計	91,009,992	合計	91,009,992

平成26年度 静岡県立沼津商業高等学校同窓会育英基金決算書報告書  
平成26年4月1日～平成27年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
同窓会より奨学金	1,500,000	在校生給付金	1,500,000
同窓会より助成費	1,000,000	学校助成費	940,386
利息	51	運営費	16,090
		育英基金へ繰越金	43,575
合計	2,500,051	合計	2,500,051

平成26年度 沼津商業振興育英基金決算書  
平成26年4月1日～平成27年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度より繰越金	45,827,951	海外研修費	1,309,000
奨学金より返済	1,615,060	26年度振込手数料	1,728
県債利息	173,140	諸雑費	20,563
普通預金利息(スルガ)	360	次年度繰越金	46,293,026
普通預金利息(四信)	35		
定期預金利息(JA南駿)	1,771		
雑収入	6,000		
合計	47,624,317	合計	47,624,317

平成26年度 沼津商業高等学校同窓会経常費会計決算書  
平成26年4月1日～平成27年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	1,908,824	会報発行費	1,871,841
年会費収入	2,568,000	支払手数料	110,540
入会会費	2,400,000	印刷代	51,408
役員会費	557,000	名簿作成費	164,980
受取利息	184	成費	30,200
手数料収入	12,301	会議費	1,038,863
その他の収入	0	事務消耗品費	146,970
		通信費	130,083
		通用品費	760,125
		記念品代金	198,592
		記功金	230,000
		助慶弔見舞金	220,000
		旅諸費	0
		諸雑費	53,514
		115周年記念事業費	289,593
		次期繰越金	2,149,600
合計	7,446,309	合計	7,446,309

**平成二六年度決算報告**

今年も二四〇名が新会員に  
平成二七年三月、男子卒業生八名、女子卒業生一一五名の二四〇名が新会員として登録され、三月二日入団式も行いました。

**事務局だより**

**新会員に**

母校の創立一一五周年を祝う事業を行いました。

母校の創立一一五周年を祝う事業を行いました。昨年母校、沼津商業高等学校が創立一一五周年を迎え同窓会ではそれを祝う事業として『歌人・明石海人と大島渚』と母校正門右側門柱の手に『この道の先に君に新しい未来がある』という標語の篆刻を設置しました。

さて、一一五周年記念の『歌人・明石海人と大島渚』は、私たちの予想を上回る程の来場者で埋められ、この事業の目的としていた「明石海人の名を周知させる」は果たせたとの感触もついています。

同窓の皆さんのご協力には改めて感謝し、御礼申します。ありがとうございました。

ところで、この事業に先き立つて『九子の杜』の前号と共にご案内させていたいただいたチラシなどに重大な誤りがありました。それは小山明子さんのご講演のタイトルを間違えたこと、海人は初の短歌集『白描』の刊行を知らずにいたとしたこと当日配付のパンフレットの『白描』序文の「流梯」を「るてい」としてしまったことなどです。この場をお借りして改めて訂正いたします。ご迷惑をおかけいたしました。

この道の先に君の新しい未来がある

母校正門右門手前に『この道の先に君の新しい未来がある』

この木碑の文、極めて分かり易い文言で、以前の学校案内のキャッチフレーズを一部手直したものといます。

■第十一回沼商OB美術展

昨年のOB美術展は創設十周年ということで三つの行事を行った。一つは沼商の文化祭「紫施祭」に出前OB美術展を開催。二つ目は静銀四季で現役生徒の写真やデザイン作品と物故の方々の作品を同時展示。三つ目は展覧会場で記念式典をして祝った。今年のOB美術展は六月四日(木)～十日(水)まで静銀四季で開催する。多くの方々の来場を希望する。

■母校の海人歌碑に日の光が:

高一八回生の松本実さんのご奉仕で、校庭の海人歌碑周辺が見違



校門前の木碑

の先に、君の新しい未来がある』と鮮やかに彫り込まれた木碑が建てられました。これは同窓会が母校の創立一一五周年を記念して本校高校一三回生土屋満男さんがケヤキ板に篆刻されたものです。

土屋さんは既に、校歌や明石海人『白描』序文の一節の篆刻なども、母校に寄贈されており、今回はそれを同窓会が校門手前に設置させていただきました。

■古根村家から海人関係の資料をいただきました。

明石海人の母方の従兄弟に当たる古根村家から沢山の海人関係の資料をいただきました。そこには従兄弟が海人をスケッチしたものや書簡類、雑誌などが含まれており、海人研究者などからの問い合わせもあり、その対応にご苦労なされたことがうかがわれます。

同窓会ではこれを末永く大事に保管・活用して行きます。

■高田前校長が沼商を最後に退職されました。

木碑設置の発案をされた高田道雄前校長が沼商を最後に退職されました。在職中の同窓会へのご協力に感謝致します。後任の校長には、以前沼商で副校長をされた前田喜久子先生が、また、副校長に金親徳行先生が着任されました。



剪定前の歌碑



剪定後の歌碑

えるほど綺麗になりました。石碑も久しぶりに太陽の光を一杯うけているようです。松本さんご奉仕ありがとうございました。

同窓会への連絡お問い合わせは...  
電話・ファックス兼用  
〇五五・九三二・五七七  
(土・日・祝日を除く月々金の午前十一時～午後三時まで)